



再生利用 と 安全性 | 実証事業の進め方

- 福島県内での再生利用の実証事業を通じて安全性等を確認している。
- 福島県外においても鉢植えやプランターの設置を通じて安全性を確認してきたが、今回、さらに芝生広場や花壇、駐車場等においても安全性を確認するための実証事業を行う。





今後の戦略検討会で議論すべき事項、スケジュール(案)について

中間貯蔵除去土壤等の減容・再生利用技術開発戦略(～2024年度)

	2023年度	2024年度	2025年度以降
最終処分 方向性の検討	<ul style="list-style-type: none"> 除去土壤等の発生量、放射能濃度の整理 再生利用見込み量の検討 最終処分場の構造、必要面積の検討 最終処分に関する放射線安全性評価 トータルコストの検討 埋立処分基準省令の検討・策定 		<ul style="list-style-type: none"> 最終処分方式の具体化 取り出し・搬出方法、跡地利用の検討 最終処分地の調査検討、調整 最終処分場の整備 最終処分場への搬入
減容・再生利用 技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> 技術実証の進捗整理 今後実施する技術実証項目の抽出、実施 技術の組み合わせの検討 処理コストの整理・検討 技術を踏まえた最終処分場の構造の検討 		
再生利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 再生利用基準省令・技術ガイドライン(手引き)の検討・策定 実証事業 (農地造成【福島県飯舘村】、道路盛土【中間貯蔵施設内】) 		再生利用の本格化の推進
全国的な 理解の醸成等	<ul style="list-style-type: none"> 飯舘村長泥地区での実証事業を中心とした理解醸成の推進 現地見学会等の継続実施 双方向のコミュニケーションの取組 次世代への理解醸成活動 SNS等による理解醸成活動 		
戦略検討会	<ul style="list-style-type: none"> 進捗状況のレビューや課題等の議論 再生利用・埋立処分基準省令・技術ガイドライン等の検討 (基準は放射線審議会、パブリックコメントを経て策定予定) 		
IAEA	<ul style="list-style-type: none"> 専門家会合(計3回程度) 	報告書	

出典：環境省提出資料